

2014年12月2日

第47回衆議院議員総選挙の公示にあたって（声明）

生活の党

本日、第47回衆議院総選挙が公示されました。

安倍首相は消費税率引き上げの先送りで国民に信を問うとして衆議院を解散しました。今回の総選挙は、安倍政権の経済政策の実体を隠ぺいするためのものであり、首相の保身としか言いようがありません。それに国民の税金を使うとは、まったくもって、国民をないがしろにした無責任極まりない行動であります。

そのような安倍首相の身勝手な総選挙に大義は全くありません。破綻が明確なアベノミクスを引き続き支持するのか、それとも国民の力でこの流れを止めるのか。今回の総選挙の本当の争点は、経済を国民の手に取り戻す政権をつくるのか、それとも様々な格差をさらに広げ、日本という国をなきものにしてしまうかの選択です。それを国民が自らの意志で決めるのが今回の選挙です。

私たち生活の党は、生活者本位の経済に政策をシフトし、失われた中間層を取り戻すことこそが、いま政治に求められている最優先課題であると考えます。その実現に向け、生活の党公認候補者は、勇気をもって、まっすぐに取り組んで参ります。

生活の党並びにわが党候補へ、皆様方のご支持・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。